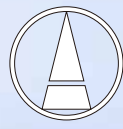


よこはま支部だより

第77号
2022年夏



一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部

THE YOKOHAMA BRANCH KANAGAWA PREFECTURE
SOCIETY OF ARCHITECTS & BUILDING ENGINEERS

P1:表紙	P2-5:総会報告	P6:絵画同好会
P7:テニス同好会	P8:横浜市建築局からのお知らせ	



【発行】

一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部事務局
〒231-0011 横浜市中区太田町2-22
神奈川県建設会館5階

Phone:045-201-1284

Fax:045-201-0784

[http://www.kanagawa-kentikusikai.com/
sibu/yokohama/](http://www.kanagawa-kentikusikai.com/sibu/yokohama/)

【担当】広報委員会

大棧橋 日本丸:Photo by Ochiai



令和4年度(一社)神奈川県建築士会横浜支部総会支部長挨拶

横浜支部 支部長 渡邊一郎



支部会員の皆様にはコロナ禍の下、また大型連休中にも拘らず総会に出席頂きありがとうございます。本年総会は時節柄多くの委任状を頂き開催させて頂きます。

昨年度は新型コロナウイルス感染で厳しい環境下、活動して参りました。同好会活動を除き、例年行う事業が中止せざる得ない状況でした。本年度は新型コロナウイルス感染状況を見ながら再開していきたいと考えております。

御承知のように建築士会は建築士法第二十二條の二に規定されており『建築士の品位の保持及びその業務の進歩改善に資するため会員の指導及び連絡に関する事務を行うことを目的とする。』となっております。支部活動はその目的を念頭に4委員会中心に30年余活動しております。資格団体として大半が設計業務の方ですが、施工、行政、教育等々様々な業種の集りであり、大きな業務として資格試験の運営があります。建築士試験制度変更で一級建築士受験者数の大幅増加、それに伴う試験監理官、試験補助員の確保が大きな課題となり、又試験当日は検温、机や椅子の消毒等の作業が発生したにもかかわらず皆様の協力で無事乗り越える事が出来ました。然しながら二級建築士試験受験者は減少しております。考えられることは工業高校建築科を卒業し設計へ目指す門

戸が減っているのでは…設計や行政に携わる皆様には工業高校建築科新卒生に興味を持って頂きたいと思っております。昨年小生が責任者を務める建設関連団体では次代の技術者育成を求め、初めて横浜市へ市立の建築科、土木科のある工業高校設立を要請しました。若いうちからしっかりした技術者、設計者を育てることは大事と思っております。

また横浜市役所からも多くの会員が在籍しておりますが横浜市建築局は本年100周年を迎え、11月にそのイベントを開催する予定で微力ながら支部も協力させて頂きます。横浜市は戦後中心市街の復興と活性のため横浜市六大事業を1965年市民へ向け提案しました。その中にベイブリッジ、MM21が盛り込まれ現在の発展に至っております。都市の発展は建築士である会員へ活躍の場を提供します。然しながらベイブリッジ、MM21の本格的建設はオイルショックをはじめとする経済情勢の影響などにより計画が進まず、1980年代になりました。優秀なプランを計画しても実現する経済と経済を支える人々の英知が如何に重要かを考えさせられます。コロナ禍で経済は傷んでおります。しかしながら横浜市の公共建築物関係の予算の大きな見直しはありませんでしたが、神奈川県内の市町村で予定していた公共建築事業の見合わせる等、建築士の活躍の場が奪われる例があります。横浜で建築士として活躍できる場があることは支部会員にとって、この上ない喜びでしょう。

厳しい環境下でも横浜支部会員の皆様には建築士として襟を正し、業務に打ち込むことが重要です。設計や施工、行政の現場において建築士の業務は終わりのないと言われていたのは小生がまだ駆け出しの昭和の頃で、今は働き方改革を通じ効率性を求められております。私の本業は多くの皆様と異な

り建築士会では少数派の施工を主としております。数年前まで工事現場の作業所は長時間労働が当たり前でしたが現在国の法律で長時間労働規制があり、若い世代の育成には苦勞しております。個々の社員の設計図の理解力がかつてより落ち、発注者、設計者へ迷惑をかけているなど感じてます。複雑な設計の図面の理解には時間を要します。深夜まで作業をすることが規制される会社運営においては、設計図に理解しやすい表現が不可欠と考えます。言葉は適当ではありませんが、要するに規制により確実に建築施工の技術者のレベルがかつてより低くなっています。もしかしたら設計の業界も同じかもし

れませんが、そのあたりを十分理解し発注者、設計者、施工者が仕事を進めることが求められているのでしょうか。新しい若い世代の活躍の場を広げ、育てるためにご理解頂きたいと存じます。

また本会、横浜支部問わずして会員の減少が進んでいます。コロナ禍で活動できない面は否定できませんが、大変危惧しております。また支部活動はほとんどが皆様の手弁当で行っておりますが今年は可能な限り活動したいと考えております。

終りに本年が支部会員の皆様がコロナ禍でも大きく飛躍されることを祈念し挨拶とさせていただきます。

一般社団法人神奈川県建築士会横浜支部 「令和4年度 第29回通常総会」議事録

日時：令和4年5月7日(土)14:00～
場所：神奈川県建設会館2階講堂

第一部 総会

- | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|-------|-----|-------|-------|-----|-------|----------|-----|-------|-------|-----|-------|
| 1.支部長挨拶 | 渡邊 一郎 | | | | | | | | | | | | |
| 2.議長選出 | 議長 渡邊 一郎 | | | | | | | | | | | | |
| 3.議案
令和4年度 議案 | | | | | | | | | | | | | |
| 1)第1号議案 令和3年度活動報告 | <table border="0"> <tr> <td>総務委員会</td> <td>報告者</td> <td>小笠原 泉</td> </tr> <tr> <td>厚生委員会</td> <td>報告者</td> <td>高橋 伸廣</td> </tr> <tr> <td>技術・情報委員会</td> <td>報告者</td> <td>櫻田 修三</td> </tr> <tr> <td>広報委員会</td> <td>報告者</td> <td>白井 崇雄</td> </tr> </table> | 総務委員会 | 報告者 | 小笠原 泉 | 厚生委員会 | 報告者 | 高橋 伸廣 | 技術・情報委員会 | 報告者 | 櫻田 修三 | 広報委員会 | 報告者 | 白井 崇雄 |
| 総務委員会 | 報告者 | 小笠原 泉 | | | | | | | | | | | |
| 厚生委員会 | 報告者 | 高橋 伸廣 | | | | | | | | | | | |
| 技術・情報委員会 | 報告者 | 櫻田 修三 | | | | | | | | | | | |
| 広報委員会 | 報告者 | 白井 崇雄 | | | | | | | | | | | |



2)第2号議案 令和3年度収支決算(案)・監査報告

会計 報告者 吉岡 徹
監査報告 報告者 藤田 武



質疑応答:質問者なし。拍手にて承認。

3)第3号議案 令和4年度事業計画(案)

総務委員会(総括) 提案者 小笠原 泉

4)第4号議案 令和4年度予算(案)

会計 報告者 吉岡 徹



5)第4号議案 令和4年度組織図

4.来賓紹介
鵜沢 聡明 横浜市建築局長



第二部 記念講演会

「港町、港湾都市、そして新たな水都へ」

令和4年5月7日(土)15:00~16:30

講師:陣内 秀信 先生



法政大学特任教授東京大学大学院工学系研究科博士課程修了
イタリア政府給付留学生としてヴェネツィア建築大学に留学専門は
イタリア建築史・都市史地中海学会会長、都市史学会会長を歴任
中央区立郷土天文館館長、国交省都市景観大賞審査委員長他
著書『東京の空間人類学』(筑摩書房、サントリー学芸賞)

『ヴェネツィア-水上の迷宮都市』(講談社)

『イタリア小さなまちの底力』(講談社)

『イタリア都市の空間人類学』(弦書房)他





絵画同好会便り

『デッサン会』



2021

11/21
(日)

コロナの影響で約2年振りにスケッチ会を開催致しました。高島町にある[みらい美術館]の『エミール・ガレとライバル』展にてアール・ヌーボー、アール・デコ期に活躍したエミール・ガレ、アルジー・ルソー、ドーム兄弟、ルネ・ラリックのガラス芸術を鑑賞し、桜木町に移動、今年新しく運行された「ヨコハマエアキャビン」でロープウェイに乗り 空中から みなとみらい地区を眺め、赤レンガ倉庫にてランチ。午後より周辺にてスケッチを楽しみました。



[みらい美術館]会場前にて



菊地会員の作品



藤井会員の作品



高橋会員の作品



石田会員の作品



テニス同好会便り



テニス同好会は、新型コロナ感染が発生してからも、テニスコートの閉鎖、雨天以外は感染対策しながら、元気に活動しています

定例会報告 場所:金沢産業振興センターテニスコート 土曜日開催

支部だより72号以降の報告です

令和元年度活動 11月23日,12月7日,12月21日,令和2年1月11日,1月25日,2月8日,2月22日,3月14日,3月28日
令和2年度活動 6月13日,6月27日,7月11日,10月24日,11月14日,11月28日,12月12日,12月26日,令和3年1月9日,2月13日,2月27日,3月27日



令和3年度活動 4月10日,4月24日,5月8日,5月22日,6月12日,6月26日,7月10日,7月24日,8月28日,9月11日,9月25日,10月9日,11月6日,11月22日,12月11日,12月25日,令和4年1月22日,2月12日,2月26日,3月12日,3月26日
令和4年度活動 4月9日,5月14日,5月28日,6月11日,6月25日,7月9日,7月23日



テニス同好会 会員募集中!

テニスに関心のある方どなたでも参加可能です。特に女性大歓迎!お気軽に連絡ください。
定例会は原則第2・4土曜日を予定していますが、予約状況により異なりますのでお問い合わせください。ご連絡の際はメールの場合でもお名前、連絡先の記入をお願いします。
連絡先:玉野 TEL:045-894-8452 FAX:045-893-6614 n.tamano@architect-tamano.jp



横浜市 建築局からのお知らせ

大正11年4月1日に、横浜市の行政組織の中に営繕事務を行う『建築課』が誕生してから令和4年で100年を迎えました。本市の公共建築は、東日本で最初の鉄筋コンクリート造の小学校、日本で最初の不燃公営アパートを整備するなど、日本の近代建築史においても先導的な役割を担ってきました。また、建築課が誕生した翌年には関東大震災があり、この建築課が横浜の震災復興計画を支える中軸として活躍してきました。

この100年という節目を契機として、本市では『横浜市公共建築100周年事業』を一年間かけて実施しています。学生を含めた40歳以下の若手設計者を対象とした設計コンペをはじめ、8月には講演会、11月の公共建築月間にシンポジウムや子ども向けワークショップを開催し、多くの皆様に公共建築物に対する、親しみや愛着を一層高めていただくとともに、建設業界を盛り上げていきます。合わせて、これまで以上に市民の皆様が誇れる公共建築物の整備につなげてまいります。



【イベント情報】

◆令和4年4月 『根岸森林公園トイレ新築工事に伴う設計業務委託設計コンペ』

→ 若手設計者を対象とした設計コンペを実施します。

- ・対象建築物：根岸森林公園トイレ
- ・参加資格：昭和56年4月2日以降に生まれた者(40歳以下)で、建築士又は建築士を志す(学生を含む)者
- ・参加意向申出期間：令和4年5月16日～5月27日
- ・設計案受付締切：令和4年7月15日
- ・一次評価結果公表：令和4年8月4日
- ・二次評価(公開ヒアリング)：令和4年8月22日
- ・受託候補者の公表：令和4年9月上旬(予定)

◆令和4年8月22日 『建築家 内藤 廣 講演会』

→ 多くの公共建築や文化施設などを手掛ける建築家の内藤 廣氏を招き「建築とまちづくり」をテーマに講演会を開催します。

- ・テーマ：「建築とまちづくり」
- ・日 時：2022年8月22日[月]13:00～14:30(開場12:30)

※ 根岸森林公園トイレ設計コンペの公開ヒアリングは15:00～18:00

- ・会 場：関内ホール 大ホール
- ・定 員：先着600名(入場無料・事前申込制)

◆令和4年11月 シンポジウム

→ 公共建築をテーマにパネルディスカッションを実施予定。

◆令和4年11月 ワークショップ、展示

→ 横浜市庁舎にて公共建築に関する子ども向けワークショップや展示を実施予定。



横浜市公共建築100周年
Yokohama Public Architecture 100th Anniversary